

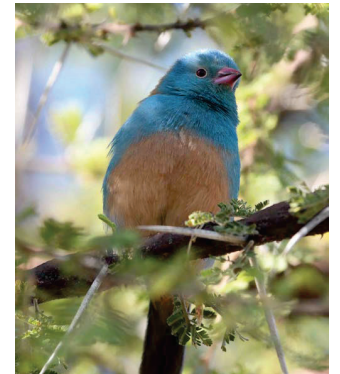
小鳥たちの求愛コミュニケーションの秘密

自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

太田 菜央



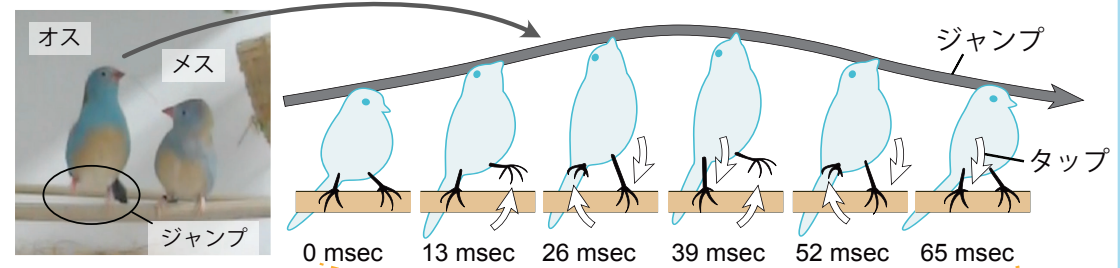
ルリガシラセイキチョウ（漢字で書くと瑠璃頭青輝鳥、以下セイキチョウと記載）は、文鳥やジュウシマツと同じ科に属する10グラムほどの小鳥です。野外では主にタンザニアやケニアなどの東アフリカに生息しています。彼らは巣材を啜えながらジャンプと歌を繰り返すという非常に複雑な求愛行動を見せます。飼育個体のセイキチョウの観察を始めた頃、**求愛ジャンプの際にバチバチという非常にはっきりとした音が鳴る**ことに気づきました。このような音は移動などの他の運動時には聞こえません。求愛の時のジャンプには何か音を鳴らすための特殊な動きが含まれているのではないかと予想し、1秒あたり240~300コマで撮影できるハイスピードカメラ（通常スピードの撮影は1秒30~60コマ程度）での撮影をおこないました。



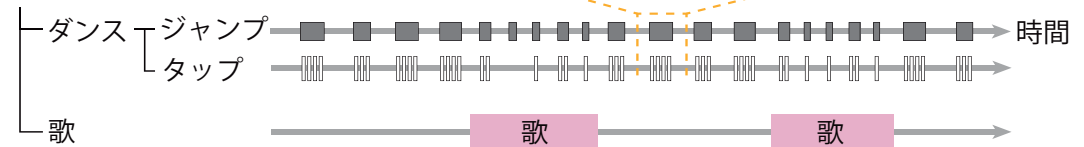
↑タンザニアで撮影した野生のセイキチョウ

その結果、肉眼では1回ジャンプしたただけに見える動きの中に、高速で2~6回脚を地面に叩きつける**タップダンスのような運動**が含まれていることが明らかになりました。

タップダンス行動は視覚的なアピールに加えて、止まり木を介した**非発声由来音**（声以外で出す音）と**振動**を発生することに寄与しているようです。私は現在、この複数の信号およびそれらの組み合わせが、彼らのコミュニケーションにどのように作用しているのか調べています。



求愛行動の時系列の一例



↑セイキチョウのタップダンス様求愛行動の概要図 (Ota et al. 2015を改変)